

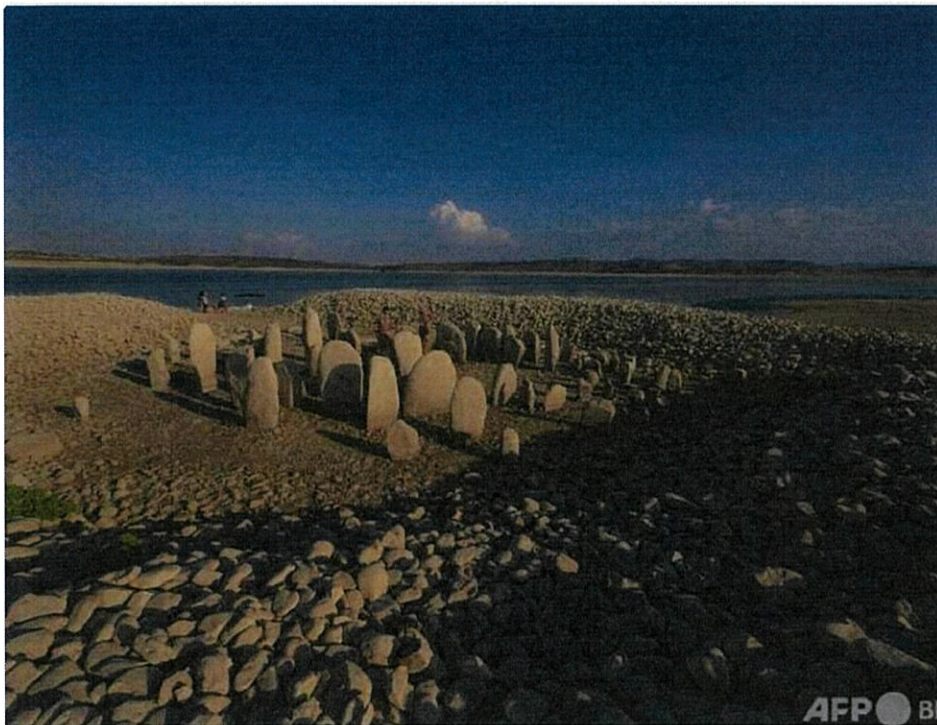


甲第279号証

ニュース 環境・科学

水位低下で出現 中世の教会や「スペインのストーンヘンジ」

2022年9月4日 10:00 発信地：ピラノバデサウ/スペイン [スペイン, ヨーロッパ]



AFP BB

< 13/17 >

スペイン西部エストレマドゥラ州のバルデカニャス貯水池の水位低下で姿を現した巨石遺跡「ガダルバールのドルメン」(2022年8月25日撮影)。(c)PIERRE-PHILIPPE MARCOU / AFP



【9月4日 AFP】スペインの干上がった貯水池から、11世紀に建てられた教会が姿を現した。さらに水位が低下した別の貯水池からも、紀元前5000年にさかのぼるとされる環状列石の遺跡がよみがえった。

環境保護省によると、干ばつが続くスペイン各地の貯水池の水量は、8月に満水時の36%未満にまで減少した。

Top stories



カナダ、暴風雨で被害甚大 トルドー首相は安倍氏国葬見送り

ウクライナ侵攻、平和的解決を中印が国連総会で訴え



ロシア、動員令反対デモで700人超拘束 兵士の降伏・戦闘拒否に禁錮10年



エリザベス女王の墓碑を公開 英王室



メイウェザー氏、2回TKOで朝倉未来とのエキシビに勝利





カタルーニャ（Catalonia）自治州ビラノバデサウ（Vilanova de Sau）では、貯水池の水位低下により、1960年代のダム建設で水没した村のサンロマ教会（Church of Sant Roma）が姿を現した。今年2月には、教会の一部が露出したと報じられていた。

長年、水中に隠れていた教会を見に訪れた人は「これまで見えていたのは鐘楼だけでした」と語った。

また、西部エストレマドゥラ（Extremadura）州のバルデカニャス（Valdecanas）貯水池では、通常は水没している小島にある先史時代の環状列石の遺跡が現れた。「スペインのストーンヘンジ（Stonehenge）」と呼ばれる、巨石数十個でできた遺跡「ガダルペラルのドルメン（Dolmen of Guadalperal）」だ。

1926年に考古学者が発見したこの遺跡は、1963年の貯水池建設で水没していた。

7月に英科学誌ネイチャー・ジオサイエンス（Nature Geoscience）に発表された研究によると、今年、スペインの一部は過去1000年以上で最も乾燥した状態にあり、冬にはさらなる少雨も予想されている。(c)AFP

[環境・科学 一覧へ >](#)

[メディア・報道関係・法人の方向け 写真・動画 購入のお問合せ >](#)

関連記事

【写真特集】干上がる世界

水位低下の貯水池から3人目の遺体発見 米ラスベガス近郊

南米パラナ川で記録的な水位低下

Special PR

【特集】新型コロナウイルス「COVID-19」最新情報も含め、関連ニュースを随時配信

世界とつながろうプロジェクト2022 JICA×AFPBB News あなたの一票で最優秀賞が決まる！【メッセージ作品コンテスト】

「時事トレンド」に注目！グローバルな視点で世界を見渡してみよう

【PR】ガーナの母子を救えー異業種3者の共創プロジェクトで母子の保健と栄養の改善を目指す

【PR】独自の強みを引き出す「伴走支援」で中小企業の悩みを解決ー商工中金浜松支店の「寄り添い」の取り組みー

